

「狐森地区町有地」に関するサウンディング型市場調査 結果概要について

令和5年9月19日から25日において、サウンディング型市場調査を実施したので、結果を以下のとおり公表します。

本調査には2事業者の参加があり、事業に関する・意見等は以下のとおりです。

なお、参加された事業者の名称や企業独自のノウハウに関する内容については非公表としています。

・「狐森地区町有地」の活用可能性について

PPP（公民連携）による賃貸型定住促進住宅整備の提案

①BOT方式による賃貸型定住促進住宅整備

Build(建設)→Operate(運営)→Transfer(譲渡)

民間が賃貸型定住促進住宅を建設し、維持管理及び運営を行い、事業終了後に自治体に施設所有権を移転する事業方式の活用提案を受けた

②DB方式による賃貸型定住促進住宅整備

Design(設計)→Build(建設)

民間が賃貸型定住促進住宅の設計及び建設を包括的に受注して行う事業方式の活用提案を受けた。

③賃貸型定住促進住宅整備

民間事業者が自治体から土地を借り受け、事業資金を調達し賃貸型定住促進住宅を建設し、完成した住宅を自治体が借り上げる事業方式の活用提案を受けた。